

## 各省庁大臣賞の概要

## 通商産業大臣賞

受賞者名	所在地	取組みの内容												
昭和アルミニウム株式会社	東京都千代田区	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 1973年省エネ、省資源の観点からアルミ缶のリサイクルを開始</li> <li>取扱品目 アルミ缶</li> <li>実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミ缶</td> <td>11,300 t 38,000 ㎡</td> <td>11,300 t 38,000 ㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>(容量は、丸缶とブロック(プレス)缶の比率から算出)</p> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先進性 1971年のアルミ缶の生産開始とともに、メーカーとしてリサイクルの重要性を認識し、1973年には東京都内で回収に取り組みを始めていること。日本におけるアルミ缶リサイクルのパイオニア。</li> <li>事業所周辺地区への浸透 1981年から、効率的なリサイクル活動という点から堺、小山の2工場周辺のボランティアを対象に回収を始め、現在のボランティア数は、全グループで1,200を越える状況にある。</li> <li>創意性・社員回収 1990年から始めた社員から有償回収は、同業他社に大きな刺激を与え、同業他社がこぞって追随することになるほどの新規性を持っていた。この社員回収システムは、地域におけるアルミ缶リサイクルについて率先的模範を示すものであり、地域のリサイクル意識の浸透に多大な貢献をしている。</li> <li>新システムへの挑戦 1990年に千葉に国内初めての市民対象のアルミ缶専門の買取センターを開設、1997年にCAN TO CANの専門会社(株)昭和アルミ缶リサイクルセンターを設立するなどリサイクルへの積極的で新たな工夫にもとづく取り組みが多い。</li> <li>幅広いPR活動 リサイクル関係のイベント等に参加して社会に広くリサイクルの啓発を図っている。</li> </ul> </li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	アルミ缶	11,300 t 38,000 ㎡	11,300 t 38,000 ㎡						
品目	平成8年度	平成9年度												
アルミ缶	11,300 t 38,000 ㎡	11,300 t 38,000 ㎡												
杉山嘉一	神奈川県川崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 杉山商店としては昭和5年より、三栄ガラス(株)としては昭和44年10月以降よりカレットの扱い業務を実施。製びんメーカーへのリサイクル原料の提供を永年にわたって実施現在に至る。</li> <li>取扱品目 びんカレット</li> <li>実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カレット 白</td> <td>38,000 t</td> <td>40,000 t</td> </tr> <tr> <td>茶</td> <td>22,000 t</td> <td>24,000 t</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17,000 t</td> <td>19,000 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>永年にわたって関東・甲信越、東北(一部)地域の地方自治体及び事業系カレットの回収、加工・処理を行った上で製びんメーカーに納入している。</li> <li>また、全国カレット組合連合会の会長(現相談役)、カレットセンター協議会副会長等を歴任し、カレット業界発展のための業界活動を熱心に行っている。</li> <li>特に、平成9年4月の容器包装リサイクル法施行に対応して、ガラスびんの円滑なリサイクル推進を目的として平成8年11月に「日本びんカレットリサイクル協会」設立のため尽力し、初代会長として活躍を続けている。</li> </ul> </li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	カレット 白	38,000 t	40,000 t	茶	22,000 t	24,000 t	その他	17,000 t	19,000 t
品目	平成8年度	平成9年度												
カレット 白	38,000 t	40,000 t												
茶	22,000 t	24,000 t												
その他	17,000 t	19,000 t												

受賞者名	所在地	取組みの内容																					
千葉市環境局	千葉県千葉市	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成4年10月 全市を対象としてごみの5分別収集を開始</li> <li>取扱品目 スチール缶, アルミ缶, びん, 金属類, 古紙, ペットボトル</li> <li>実績 <table border="1" data-bbox="1031 524 1785 894"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スチール缶</td> <td>4,093 t</td> <td>3,795 t</td> </tr> <tr> <td>アルミ缶</td> <td>1,377 t</td> <td>1,467 t</td> </tr> <tr> <td>びん</td> <td>10,020 t</td> <td>9,932 t</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>—</td> <td>153 t</td> </tr> <tr> <td>古紙</td> <td>26,825 t</td> <td>27,276 t</td> </tr> <tr> <td>金属類</td> <td>3,967 t</td> <td>2,270 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あき缶とびんは、中身を抜きキャップを外して出すことが徹底されており、収集方法もコンテナなので、異物の混入が非常に少なく、資源化物の品質が良い。コンテナは折り畳み式にし、収集上での工夫をしている。</li> <li>人口の多い政令指定都市の中では、リサイクルシステムが最も完備している。ペットボトルの収集も進めている。</li> <li>リサイクルセンターおよび併設のリサイクルプラザの視察や見学、フリーマーケットの開催等、普及啓発活動を活発に実施している。</li> <li>平成2年より紙類（新聞、牛乳パック等）、古布類の集団回収団体やコンポスト容器に、補助金を出す等、ごみのリサイクルと減量化を支援している。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	スチール缶	4,093 t	3,795 t	アルミ缶	1,377 t	1,467 t	びん	10,020 t	9,932 t	ペットボトル	—	153 t	古紙	26,825 t	27,276 t	金属類	3,967 t	2,270 t
品目	平成8年度	平成9年度																					
スチール缶	4,093 t	3,795 t																					
アルミ缶	1,377 t	1,467 t																					
びん	10,020 t	9,932 t																					
ペットボトル	—	153 t																					
古紙	26,825 t	27,276 t																					
金属類	3,967 t	2,270 t																					
葛飾区消費者団体連絡会	東京都葛飾区	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 昭和46年</li> <li>取扱品目 アルミ缶, 牛乳パック</li> <li>実績 <table border="1" data-bbox="1074 1616 1760 1800"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミ缶</td> <td>1.97 t 98.5 ㎡</td> <td>1.44 t 72.0 ㎡</td> </tr> <tr> <td>牛乳パック</td> <td>11.98 t</td> <td>14.51 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>注) 地域団体のアルミ缶回収活動が町内会での集団回収に発展した事例が多い。そのため全消費者団体共同のアルミ缶回収実績は減少している。牛乳パックは町内会集団回収への発展が難しく、共同事業の回収実績が増加している。</p> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費者団体でのリサクル活動のパイオニア。</li> <li>学習会や講演会を開催し、ごみ減量・リサイクルについてよく勉強している。</li> <li>行政や企業と連携し、区民啓発活動を活発に実施。</li> <li>回収実績がすぐれている。</li> <li>当団体代表は都及び全国の生活学校連絡協議会の会長等を歴任し、ごみ減量・リサイクルの普及等に努めている。</li> <li>当団体の活動は当団体代表を通じて都及び全国の生活学校へも伝わり、消費者団体でのリサイクル活動の模範となっている。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	アルミ缶	1.97 t 98.5 ㎡	1.44 t 72.0 ㎡	牛乳パック	11.98 t	14.51 t												
品目	平成8年度	平成9年度																					
アルミ缶	1.97 t 98.5 ㎡	1.44 t 72.0 ㎡																					
牛乳パック	11.98 t	14.51 t																					

受賞者名	所在地	取組みの内容																											
株式会社 日立製作所 横浜地区	神奈川県横浜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成4年10月</li> <li>取扱品目 ガラス屑（ブラウン管、蛍光灯含む）、プリント基板、偏向ヨーク、電気雑品、発泡スチロール、紙屑、木パレット、ダンボール、金属屑、あき缶類</li> <li>実績 <table border="1" data-bbox="1058 551 1760 1237"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガラス屑</td> <td>87 t 232 ㎡</td> <td>77 t 205 ㎡</td> </tr> <tr> <td>プリント基板、 電気雑品</td> <td>42 t 134 ㎡</td> <td>58 t 185 ㎡</td> </tr> <tr> <td>発泡スチロール</td> <td>18 t 160 ㎡</td> <td>2 t 18 ㎡</td> </tr> <tr> <td>木屑</td> <td>89 t 548 ㎡</td> <td>64 t 394 ㎡</td> </tr> <tr> <td>プラスチック</td> <td>70 t 170 ㎡</td> <td>86 t 209 ㎡</td> </tr> <tr> <td>資源紙及びダン ボール</td> <td>142 t 661 ㎡</td> <td>260 t 1,024 ㎡</td> </tr> <tr> <td>金属屑</td> <td>493 t 218 ㎡</td> <td>162 t 54 ㎡</td> </tr> <tr> <td>廃酸</td> <td>21 t 22 ㎡</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゼロエミッションへの取組み 構内発生廃棄物のうち、廃棄される量が平成12年までに10%となるよう取組み。</li> <li>全員が一体となり廃棄物削減運動を展開。</li> <li>システムティックな廃棄物の分類、回収。</li> <li>リサイクル化を追求した製品開発への取組み。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	ガラス屑	87 t 232 ㎡	77 t 205 ㎡	プリント基板、 電気雑品	42 t 134 ㎡	58 t 185 ㎡	発泡スチロール	18 t 160 ㎡	2 t 18 ㎡	木屑	89 t 548 ㎡	64 t 394 ㎡	プラスチック	70 t 170 ㎡	86 t 209 ㎡	資源紙及びダン ボール	142 t 661 ㎡	260 t 1,024 ㎡	金属屑	493 t 218 ㎡	162 t 54 ㎡	廃酸	21 t 22 ㎡	—
品目	平成8年度	平成9年度																											
ガラス屑	87 t 232 ㎡	77 t 205 ㎡																											
プリント基板、 電気雑品	42 t 134 ㎡	58 t 185 ㎡																											
発泡スチロール	18 t 160 ㎡	2 t 18 ㎡																											
木屑	89 t 548 ㎡	64 t 394 ㎡																											
プラスチック	70 t 170 ㎡	86 t 209 ㎡																											
資源紙及びダン ボール	142 t 661 ㎡	260 t 1,024 ㎡																											
金属屑	493 t 218 ㎡	162 t 54 ㎡																											
廃酸	21 t 22 ㎡	—																											
東洋ゴム工業株式会社 仙台工場	宮城県岩沼市	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成8年</li> <li>取扱品目 ばいじん  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           コージェネレーションより発生。全産業 廃棄物の40%を占める。         </div> </li> <li>実績 <table border="1" data-bbox="1058 1950 1773 2162"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ばいじん</td> <td>3,100 t</td> <td>860 t</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>セメント向け</td> <td>2,800 t</td> <td>760 t</td> </tr> <tr> <td>コンクリート向け</td> <td>300 t</td> <td>100 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廃タイヤの処理と同時に熱回収（コージェネ）及びばいじんの再利用を行い、資源を無駄なく活用し、更に廃棄物量を削減。</li> <li>ばいじんのコンクリート着色材への利用は、これまでにないリサイクル用途。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	ばいじん	3,100 t	860 t	(内訳)			セメント向け	2,800 t	760 t	コンクリート向け	300 t	100 t												
品目	平成8年度	平成9年度																											
ばいじん	3,100 t	860 t																											
(内訳)																													
セメント向け	2,800 t	760 t																											
コンクリート向け	300 t	100 t																											

受賞者名	所在地	取組みの内容																																										
ソニー浜松株式会社	静岡県浜松市	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成4年</li> <li>取扱品目 ダンボール, 新聞・雑誌, 金属スクラップ, アルミ屑, はんだ容器, はんだ屑, 飲料空き缶, 飲料びん, 非鉄金属類, 発泡スチロール, 厨房残渣 等</li> <li>実績 <table border="1" data-bbox="1064 551 1765 1284"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ダンボール</td><td>45.9 t</td><td>63.9 t</td></tr> <tr><td>新聞・雑誌</td><td>0.8 t</td><td>0.22 t</td></tr> <tr><td>金属スクラップ</td><td>111.8 t</td><td>65.8 t</td></tr> <tr><td>アルミ屑</td><td>0.8 t</td><td>0.75 t</td></tr> <tr><td>はんだ容器</td><td>0.1 t</td><td>0.04 t</td></tr> <tr><td>はんだ屑</td><td>0.7 t</td><td>0.26 t</td></tr> <tr><td>飲料空き缶</td><td>—</td><td>6.7 t</td></tr> <tr><td>飲料あきびん</td><td>—</td><td>5.2 t</td></tr> <tr><td>非鉄金属類</td><td>6.5 t</td><td>3.5 t</td></tr> <tr><td>発泡スチロール</td><td>1.6 t</td><td>0.56 t</td></tr> <tr><td>その他廃プラ</td><td>0.2 t</td><td>—</td></tr> <tr><td>木屑</td><td>1.5 t</td><td>—</td></tr> <tr><td>厨房残渣</td><td>—</td><td>9.8 t</td></tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄からリサイクル転換への循環型リサイクルを目標とし全社的取り組み。</li> <li>ISO14001を取得し、数値目標をたて計画的に取り組み。</li> <li>ダイオキシン削減のため、厨房残渣を肥料へリサイクル。</li> <li>容器類のリサイクルにも取り組み分別し、リサイクル業者の開拓。</li> <li>リサイクルにより廃棄物排出量を前年比40.6%削減。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	ダンボール	45.9 t	63.9 t	新聞・雑誌	0.8 t	0.22 t	金属スクラップ	111.8 t	65.8 t	アルミ屑	0.8 t	0.75 t	はんだ容器	0.1 t	0.04 t	はんだ屑	0.7 t	0.26 t	飲料空き缶	—	6.7 t	飲料あきびん	—	5.2 t	非鉄金属類	6.5 t	3.5 t	発泡スチロール	1.6 t	0.56 t	その他廃プラ	0.2 t	—	木屑	1.5 t	—	厨房残渣	—	9.8 t
品目	平成8年度	平成9年度																																										
ダンボール	45.9 t	63.9 t																																										
新聞・雑誌	0.8 t	0.22 t																																										
金属スクラップ	111.8 t	65.8 t																																										
アルミ屑	0.8 t	0.75 t																																										
はんだ容器	0.1 t	0.04 t																																										
はんだ屑	0.7 t	0.26 t																																										
飲料空き缶	—	6.7 t																																										
飲料あきびん	—	5.2 t																																										
非鉄金属類	6.5 t	3.5 t																																										
発泡スチロール	1.6 t	0.56 t																																										
その他廃プラ	0.2 t	—																																										
木屑	1.5 t	—																																										
厨房残渣	—	9.8 t																																										
東邦ガス株式会社 リビング営業部 邦和商事株式会社 〔2者連名〕	愛知県名古屋市	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成6年8月</li> <li>取扱品目 汚泥, 廃油, 廃酸, 廃プラスチック, ガラス屑, 金属屑, 紙類(古紙, 雑誌, 新聞紙, ダンボール) 等</li> <li>実績 <table border="1" data-bbox="1058 2005 1760 2217"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>使用済ガス機器</td><td>402 t</td><td>411 t</td></tr> <tr><td>発泡スチロール</td><td>682 t</td><td>620 t</td></tr> <tr><td>浴槽</td><td>17 t</td><td>19 t</td></tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来、サービスショップが個別に廃棄物処理していたものを、ガス会社と系列販売店が一体となって自主的な巡回、回収を実施。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	使用済ガス機器	402 t	411 t	発泡スチロール	682 t	620 t	浴槽	17 t	19 t																														
品目	平成8年度	平成9年度																																										
使用済ガス機器	402 t	411 t																																										
発泡スチロール	682 t	620 t																																										
浴槽	17 t	19 t																																										

受賞者名	所在地	取組みの内容														
砺波広域圏事務組合 南砺リサイクルセンター	富山県西砺波郡 福光町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開始時期 平成7年4月</li> <li>・ 取扱品目 可燃、不燃ゴミなどの家庭ゴミ</li> <li>・ 実績               <table border="1" data-bbox="1064 469 1765 680" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃ゴミ回収量</td> <td>4,861 t</td> <td>5,072 t</td> </tr> <tr> <td>不燃ゴミ回収量</td> <td>1,012 t</td> <td>1,015 t</td> </tr> <tr> <td>RDF製造量</td> <td>2,279 t</td> <td>2,413 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可燃性一般家庭ゴミを固形化し、それを地域内の各種施設の冷暖房用燃料等として再利用を図り、地域における資源循環型社会の構築のモデルケースとして社会に貢献した。</li> <li>・ ごみ固形燃料化施設はそれ自体が無公害施設であることに加え、乾燥工程により燃料の発熱量増大と燃焼の安定化を図り、また消石灰の添加混入により塩化ビニール類より発生する塩化水素の発生が抑制できる。</li> <li>・ わが国初の厚生省による廃棄物処理施設構造指針外協議を受け、平成5年12月に国庫補助が内示され着工されたものであるが、焼却一辺倒であった我が国の一般廃棄物処理に対し、固形化処理方式を先駆けて取り入れたもので、補助事業の認定に努力した。</li> <li>・ 平成9年度12月から排ガス規制項目になったダイオキシン対策にも有効とされ、全国的に注目されている。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	可燃ゴミ回収量	4,861 t	5,072 t	不燃ゴミ回収量	1,012 t	1,015 t	RDF製造量	2,279 t	2,413 t		
品目	平成8年度	平成9年度														
可燃ゴミ回収量	4,861 t	5,072 t														
不燃ゴミ回収量	1,012 t	1,015 t														
RDF製造量	2,279 t	2,413 t														
中濃セテック株式会社	岐阜県加茂郡 八尾津町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開始時期 平成5年3月（陶磁器屑利用の「トレスルー」発売） 平成6年1月（浚渫粘土利用の「セミック骨材」発売） 平成10年3月（陶磁器屑・下水道汚泥溶融スラグ利用の「レグナス」発売。）</li> <li>・ 取扱品目 陶磁器屑，下水道溶融スラグ，浚渫粘土</li> <li>・ 実績               <table border="1" data-bbox="1058 1629 1785 1896" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">陶磁器屑</td> <td>7,000 t</td> <td>10,000 t</td> </tr> <tr> <td>70,000 ‰</td> <td>100,000 ‰</td> </tr> <tr> <td>下水道溶融スラグ</td> <td>—</td> <td>50 t</td> </tr> <tr> <td>浚渫粘土</td> <td>—</td> <td>140 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岐阜県の主要産業である陶磁器業界から排出される陶磁器屑等産業廃棄物を安定継続してリサイクル製品化している。</li> <li>・ 再生利用個別指定業の岐阜県認可取得。</li> <li>・ トレスルー、レグナスが岐阜県の廃棄物リサイクル認定品となる。</li> <li>・ 平成9年4月以降、中濃汚泥対策研究会等に参加、提案している。</li> <li>・ 平成10年4月岐阜県リサイクル事業協会設立に参加。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	陶磁器屑	7,000 t	10,000 t	70,000 ‰	100,000 ‰	下水道溶融スラグ	—	50 t	浚渫粘土	—	140 t
品目	平成8年度	平成9年度														
陶磁器屑	7,000 t	10,000 t														
	70,000 ‰	100,000 ‰														
下水道溶融スラグ	—	50 t														
浚渫粘土	—	140 t														

# 建設大臣賞

受賞者名	所在地	取組みの内容																																	
<p>戸田建設株式会社 都立墨東病院増築工事</p>	<p>東京都墨田区</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成8年4月</li> <li>取扱品目 あき缶, ペットボトル, ダンボール等</li> <li>実績 (平成10年6月までの計)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1031 524 1785 1105"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>排出量</th> <th>排出量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>混合廃棄物</td> <td>1,101 ㎡</td> <td>275 ㎡</td> </tr> <tr> <td>あき缶</td> <td>12 ㎡</td> <td>275 ㎡</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>2 ㎡</td> <td>————</td> </tr> <tr> <td>新聞・雑誌</td> <td>10 ㎡</td> <td>————</td> </tr> <tr> <td>ダンボール</td> <td>206 ㎡</td> <td>————</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td>65 ㎡</td> <td>117 ㎡</td> </tr> <tr> <td>木くず</td> <td>323 ㎡</td> <td>129 ㎡</td> </tr> <tr> <td>金属くず</td> <td>302 ㎡</td> <td>423 ㎡</td> </tr> <tr> <td>電線くず</td> <td>3 ㎡</td> <td>————</td> </tr> <tr> <td>石膏ボード</td> <td>265 ㎡</td> <td>186 ㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>混合廃棄物の排出を削減するために、分別排出を徹底し、リサイクル化に努めている。</li> <li>分別排出を徹底するために、関係者に対する分別ルールの教育を層別に行った。特に変化する作業環境で関係する多職種(1998年6月現在、約30職種)、多人数(同、約500人/日)全員にルールを徹底している。</li> <li>産廃処理を一つの工事種目として捉え、産廃業者の社員を2名作業所に配置し、産廃を運ぶだけでなく、産廃処理に関するコンサルティング能力を有する産廃業者の育成にも貢献している。</li> <li>分別収集を徹底するには、諸条件に恵まれない工事であるにも関わらず、厳しい目標管理により分別リサイクルの定着を図った。</li> </ul>	品目	排出量	排出量	混合廃棄物	1,101 ㎡	275 ㎡	あき缶	12 ㎡	275 ㎡	ペットボトル	2 ㎡	————	新聞・雑誌	10 ㎡	————	ダンボール	206 ㎡	————	コンクリート塊	65 ㎡	117 ㎡	木くず	323 ㎡	129 ㎡	金属くず	302 ㎡	423 ㎡	電線くず	3 ㎡	————	石膏ボード	265 ㎡	186 ㎡
品目	排出量	排出量																																	
混合廃棄物	1,101 ㎡	275 ㎡																																	
あき缶	12 ㎡	275 ㎡																																	
ペットボトル	2 ㎡	————																																	
新聞・雑誌	10 ㎡	————																																	
ダンボール	206 ㎡	————																																	
コンクリート塊	65 ㎡	117 ㎡																																	
木くず	323 ㎡	129 ㎡																																	
金属くず	302 ㎡	423 ㎡																																	
電線くず	3 ㎡	————																																	
石膏ボード	265 ㎡	186 ㎡																																	
<p>兵庫県アスファルト合材協会</p>	<p>兵庫県神戸市</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成3年4月</li> <li>取扱品目 アスファルトコンクリート塊</li> <li>実績</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1037 1871 1792 2058"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトコンクリート塊受入量</td> <td>842,000 t 601,000 ㎡</td> <td>858,000 t 613,000 ㎡</td> </tr> <tr> <td>再生合材出荷量</td> <td>2,570,000 t</td> <td>1,802,000 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生利用にあたり発注者と共に、勉強会を設けた。</li> <li>協会側では、アスコン塊の再生利用事業の展開が必要であることを認識し、アスコン塊から再生骨材を製造する中間処理施設及び再生合材工場を積極的に設置した。</li> <li>平成7年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」に際し、限定された中間処理場の中に可能な限りのアスコン塊を受入れ、受入量は対前年比215%であったが無事処理することができた。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	アスファルトコンクリート塊受入量	842,000 t 601,000 ㎡	858,000 t 613,000 ㎡	再生合材出荷量	2,570,000 t	1,802,000 t																								
品目	平成8年度	平成9年度																																	
アスファルトコンクリート塊受入量	842,000 t 601,000 ㎡	858,000 t 613,000 ㎡																																	
再生合材出荷量	2,570,000 t	1,802,000 t																																	

受賞者名	所在地	取組みの内容																		
株式会社 大林組 品川東口JV工事事務所	東京都港区	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成7年6月</li> <li>取扱品目 ダンボール, 木屑等</li> <li>実績               <table border="1" data-bbox="1029 422 1787 765"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石膏ボード</td> <td>—</td> <td>199.50 t</td> </tr> <tr> <td>ダンボール</td> <td>4.02 t</td> <td>65.30 t</td> </tr> <tr> <td>木屑</td> <td>3.75 t</td> <td>69.65 t</td> </tr> <tr> <td>金属屑</td> <td>396.08 t</td> <td>1,156.8 t</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊 (アスコン含む)</td> <td>66.80 t</td> <td>307.50 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に抑制(PC化工法等による)している。</li> <li>物流システムの効率化、省力化(回転フォーク, 専用パレットの開発)につとめている。</li> <li>現場分別、現場内再資源化を行っている。</li> <li>職員・作業員への啓発を徹底して。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	石膏ボード	—	199.50 t	ダンボール	4.02 t	65.30 t	木屑	3.75 t	69.65 t	金属屑	396.08 t	1,156.8 t	コンクリート塊 (アスコン含む)	66.80 t	307.50 t
品目	平成8年度	平成9年度																		
石膏ボード	—	199.50 t																		
ダンボール	4.02 t	65.30 t																		
木屑	3.75 t	69.65 t																		
金属屑	396.08 t	1,156.8 t																		
コンクリート塊 (アスコン含む)	66.80 t	307.50 t																		
日本舗道株式会社 九州統括支店 福岡合材工場	福岡県糟屋郡 宇美町	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 昭和56年4月</li> <li>取扱品目 アスファルト廃材</li> <li>実績               <table border="1" data-bbox="1029 1188 1787 1295"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト廃材</td> <td>89,560 t</td> <td>88,610 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他社に先駆け、九州地区に最初にアスファルト廃材破碎装置及びリサイクル合材製造装置を設置し、九州地区のリサイクル事業の発展に寄与するとともに他社の模範となり、業界の技術向上に貢献した。</li> <li>アスファルト廃材の不法投棄防止に寄与した。</li> <li>再生利用により省資源化に貢献した。</li> <li>業界の技術向上に貢献した。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	アスファルト廃材	89,560 t	88,610 t												
品目	平成8年度	平成9年度																		
アスファルト廃材	89,560 t	88,610 t																		
大成建設株式会社 品川火力発電所除却工事 作業所	東京都品川区	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成8年4月</li> <li>取扱品目 コンクリート塊, 木くず, スクラップ, 照明器具(蛍光灯・水銀灯), 燃え殻</li> <li>実績               <table border="1" data-bbox="1029 1794 1702 2167"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>全工期での取扱実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td>100,858 t 54,200 t</td> </tr> <tr> <td>木くず</td> <td>206.4 t</td> </tr> <tr> <td>スクラップ</td> <td>28,196 t</td> </tr> <tr> <td>照明器具 : 蛍光灯                   : 水銀灯</td> <td>5,967 台</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7,750 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前調査において、解体に伴い発生する廃材を詳細に把握し、綿密な計画の下で実施した。それにより、全解体廃材の94.3%をリサイクルした。</li> <li>大量のコンクリート塊(100,858 t)は、構内に設置した再生砕石製造プラントにより破碎し、全量を再利用した(34%を場内利用、66%を売却)。</li> <li>約6,000台の照明器具の全量について水銀回収を実施した。</li> <li>その他の廃棄物の内、大量の保温材を構内に設置した減容固化プラントで約1/5に減容することにより排出台数の削減・廃棄物処分場の延命に努めた(環境負荷の低減)。</li> </ul>	品目	全工期での取扱実績	コンクリート塊	100,858 t 54,200 t	木くず	206.4 t	スクラップ	28,196 t	照明器具 : 蛍光灯 : 水銀灯	5,967 台	その他	7,750 t						
品目	全工期での取扱実績																			
コンクリート塊	100,858 t 54,200 t																			
木くず	206.4 t																			
スクラップ	28,196 t																			
照明器具 : 蛍光灯 : 水銀灯	5,967 台																			
その他	7,750 t																			

受賞者名	所在地	取組みの内容																					
有限会社 岩佐	北海道札幌市	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 昭和57年解体業開始以来、廃木材をパルプの原料として供給していたがコンクリートの再生利用に着目し、自家用として解体跡地の埋戻し材に活用を始め、平成3年3月から中間処理業の許可を得て、本格的な再生事業に取組を開始し、現在に至っている。</li> <li>取扱品目 コンクリート塊を破碎処理して再生骨材</li> <li>実績               <table border="1" data-bbox="1155 529 1812 661"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再生骨材</td> <td>121,580 t 51,730 ㎡</td> <td>46,080 t 19,610 ㎡</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の先駆けとしてコンクリート塊の再生利用に取り組んでいる。</li> <li>再生骨材の生産実績が多く生産技術に優れ、他の模範となっている。</li> <li>移動式プラントを自ら開発し、現地リサイクル再生利用に早くから取り組んでいる。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	再生骨材	121,580 t 51,730 ㎡	46,080 t 19,610 ㎡															
品目	平成8年度	平成9年度																					
再生骨材	121,580 t 51,730 ㎡	46,080 t 19,610 ㎡																					
外郭放水路第3工区トンネル新設 鹿島・飛鳥・西松特定建設 工事共同企業体  外郭放水路第2工区トンネル新設 大成・間・戸田特定建設 工事共同企業体  (2者連名)	埼玉県春日部市  埼玉県北葛飾郡 庄和町	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成10年7月</li> <li>取扱品目 建設汚泥 (シールド掘削残土の2次処理土)</li> <li>予定 (第3工区)               <table border="1" data-bbox="1035 1119 1792 1251"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設汚泥(泥土)</td> <td>147,810 t 79,000 ㎡</td> <td>101,920 t 54,000 ㎡</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>(第2工区)               <table border="1" data-bbox="1035 1306 1792 1437"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設汚泥</td> <td>103,740 t 55,313 ㎡</td> <td>117,855 t 62,407 ㎡</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シールド掘削泥土の積極的な有効利用を行うため、平成9年12月に改正された廃掃法に基づき、厚生大臣の認可を受け、スーパー堤防への有効利用を行うことの実現をつけた。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	建設汚泥(泥土)	147,810 t 79,000 ㎡	101,920 t 54,000 ㎡	品目	平成8年度	平成9年度	建設汚泥	103,740 t 55,313 ㎡	117,855 t 62,407 ㎡									
品目	平成8年度	平成9年度																					
建設汚泥(泥土)	147,810 t 79,000 ㎡	101,920 t 54,000 ㎡																					
品目	平成8年度	平成9年度																					
建設汚泥	103,740 t 55,313 ㎡	117,855 t 62,407 ㎡																					
本間道路株式会社	新潟県新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 昭和62年2月</li> <li>取扱品目 アスファルト廃材, アクリル系プラスチック廃材, 路上再生路盤工法</li> <li>実績               <table border="1" data-bbox="954 1772 1792 1986"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト廃材</td> <td>32,000 t</td> <td>30,000 t</td> </tr> <tr> <td>アクリル系プラスチック廃材</td> <td>300 t</td> <td>340 t</td> </tr> <tr> <td>路上再生路盤工法</td> <td>55,000 ㎡</td> <td>44,000 ㎡</td> </tr> </tbody> </table>   <table border="1" data-bbox="954 2008 1792 2167"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td>93,000 t</td> <td>78,000 t</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物</td> <td>77,000 t</td> <td>67,000 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県で再生合材が利用され始めた頃より、アスファルト廃材をリサイクルした再生骨材を使用して再生混合物の生産を開始し、数々の問題点を解決して当該地域の先駆者としてリサイクル技術を確立した。</li> <li>当該地域アスファルト廃材の増加に伴い、ストックヤードの拡張を行うことにより全面受入体制を整え、再生骨材、再生路盤材として利用し、当該地域の中心的役割を担っている。</li> <li>アクリル系プラスチック廃材の性状の解析を行い、破碎・篩分設備の改良に努めたことで、舗装材料としての利用に成功し、人工大理石舗装としての実用化を図った。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	アスファルト廃材	32,000 t	30,000 t	アクリル系プラスチック廃材	300 t	340 t	路上再生路盤工法	55,000 ㎡	44,000 ㎡	品目	平成8年度	平成9年度	アスファルト混合物	93,000 t	78,000 t	再生アスファルト混合物	77,000 t	67,000 t
品目	平成8年度	平成9年度																					
アスファルト廃材	32,000 t	30,000 t																					
アクリル系プラスチック廃材	300 t	340 t																					
路上再生路盤工法	55,000 ㎡	44,000 ㎡																					
品目	平成8年度	平成9年度																					
アスファルト混合物	93,000 t	78,000 t																					
再生アスファルト混合物	77,000 t	67,000 t																					



受賞者名	所在地	取組みの内容																								
鹿島道路株式会社朝日土木株式会社共同事業三重リサイクルセンター	三重県鈴鹿市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開始時期 平成3年2月</li> <li>・ 取扱品目 アスファルト塊, コンクリート塊, 陶磁器くず, 生コンスラッジ</li> <li>・ 実績 <table border="1" data-bbox="1031 496 1785 867" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成7年度</th> <th>平成8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト塊</td> <td>72,290 t 30,760 %</td> <td>69,612 t 29,622 %</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td>60,868 t 25,361 %</td> <td>74,371 t 30,988 %</td> </tr> <tr> <td>陶磁器くず</td> <td>1,567 t 653 %</td> <td>2,310 t 962 %</td> </tr> <tr> <td>生コンスラッジ</td> <td>186 t 109 %</td> <td>125 t 73 %</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内で建設副産物の中間処理量が最大である。</li> <li>・ 再生路盤材の出荷高も県内最高であり敷設の改善を重ね、不純物が少なく、品質に於いてもトップクラスである。</li> <li>・ 平成7年度に於いて隣接地を購入し、緑化を進めた。又、集塵装置を取り付ける等、環境対策にも努力の跡が認められる。</li> <li>・ 研究成果が認められ、建設省北勢国道工事事務所の側道工事に生コンスラッジ混入の再生路盤材が試験施工された。</li> </ul>	品目	平成7年度	平成8年度	アスファルト塊	72,290 t 30,760 %	69,612 t 29,622 %	コンクリート塊	60,868 t 25,361 %	74,371 t 30,988 %	陶磁器くず	1,567 t 653 %	2,310 t 962 %	生コンスラッジ	186 t 109 %	125 t 73 %									
品目	平成7年度	平成8年度																								
アスファルト塊	72,290 t 30,760 %	69,612 t 29,622 %																								
コンクリート塊	60,868 t 25,361 %	74,371 t 30,988 %																								
陶磁器くず	1,567 t 653 %	2,310 t 962 %																								
生コンスラッジ	186 t 109 %	125 t 73 %																								
群馬県産業廃棄物処理事業協同組合	群馬県前橋市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開始時期 平成2年2月</li> <li>・ 取扱品目 コンクリート塊、木屑等</li> <li>・ 実績 <table border="1" data-bbox="1012 1498 1765 1923" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td>11,285.00 ‰</td> <td>98,550.00 ‰</td> </tr> <tr> <td>木屑</td> <td>882.50 ‰</td> <td>401.50 ‰</td> </tr> <tr> <td>アスファルト塊</td> <td>222.00 ‰</td> <td>194.00 ‰</td> </tr> <tr> <td>ガラスくず</td> <td>7.15 ‰</td> <td>15.10 ‰</td> </tr> <tr> <td>建設廃材</td> <td>184.00 ‰</td> <td>206.50 ‰</td> </tr> <tr> <td>アスベスト</td> <td>7.00 ‰</td> <td>18.00 ‰</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック</td> <td>91.50 ‰</td> <td>136.00 ‰</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構造物解体工事における施行要領および廃材処理に係るリサイクル工法の最良模範事例である。</li> <li>・ 発生材の再資源化、減量化、適正処理の推進に向けて施行計画を作成している。</li> <li>・ 廃材等の管理体制を強化している。</li> <li>・ リサイクル率は、92.5%を達成しており、組合員のみならず建設廃材処理業界の良き先例となっている。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	コンクリート塊	11,285.00 ‰	98,550.00 ‰	木屑	882.50 ‰	401.50 ‰	アスファルト塊	222.00 ‰	194.00 ‰	ガラスくず	7.15 ‰	15.10 ‰	建設廃材	184.00 ‰	206.50 ‰	アスベスト	7.00 ‰	18.00 ‰	廃プラスチック	91.50 ‰	136.00 ‰
品目	平成8年度	平成9年度																								
コンクリート塊	11,285.00 ‰	98,550.00 ‰																								
木屑	882.50 ‰	401.50 ‰																								
アスファルト塊	222.00 ‰	194.00 ‰																								
ガラスくず	7.15 ‰	15.10 ‰																								
建設廃材	184.00 ‰	206.50 ‰																								
アスベスト	7.00 ‰	18.00 ‰																								
廃プラスチック	91.50 ‰	136.00 ‰																								

# 農林水産大臣賞

受賞者名	所在地	取組みの内容															
井村屋製菓株式会社	三重県津市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開始時期 平成8年7月</li> <li>・ 取扱品目 汚泥, アズキオカラ, ソバガラ</li> <li>・ 実績</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1029 504 1787 795"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚泥</td> <td>1,000 t 1,250 t</td> <td>1,500 t 1,900 t</td> </tr> <tr> <td>アズキオカラ</td> <td>300 t 500 t</td> <td>400 t 670 t</td> </tr> <tr> <td>ソバガラ</td> <td>50 t 600 t</td> <td>80 t 1,000 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境保全の観点から、平成4年より、自社から発生する有機性廃棄物のリサイクルの研究に取り組む。</li> <li>・ 発生した汚泥等は自社開発のプラントにより、100%のコンポスト化がなされている。</li> <li>・ 事業2年目からは、他社の廃棄物もコンポスト化によりリサイクルされている。</li> <li>・ コンポスト化製品を自社のテスト農場で使用し、品質・成分の確認を行っている。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	汚泥	1,000 t 1,250 t	1,500 t 1,900 t	アズキオカラ	300 t 500 t	400 t 670 t	ソバガラ	50 t 600 t	80 t 1,000 t			
品目	平成8年度	平成9年度															
汚泥	1,000 t 1,250 t	1,500 t 1,900 t															
アズキオカラ	300 t 500 t	400 t 670 t															
ソバガラ	50 t 600 t	80 t 1,000 t															
株式会社 日本ウォルナット	長野県小県郡和田村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開始時期 昭和31年9月</li> <li>・ 取扱品目 クルミ殻, 杏核, 桃核, トウモロコシ芯</li> <li>・ 実績</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1002 1410 1787 1673"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クルミ殻</td> <td>1,183 t</td> <td>1,494 t</td> </tr> <tr> <td>杏核</td> <td>45 t</td> <td>78 t</td> </tr> <tr> <td>桃核</td> <td>54 t</td> <td>80 t</td> </tr> <tr> <td>トウモロコシ芯</td> <td>133 t</td> <td>76 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従来、金属の研磨研掃材は鉍物質のものを使用するのが常識的であったが、研磨時の摩擦熱による樹脂の硬化や対象物に傷が付く等の問題点があり、それらに対応可能な研磨剤として、クルミ殻、トウモロコシ芯等の利用を発案した。</li> <li>・ また、クルミ殻は油脂分を含み、硬い木質であるため均等に粉碎することは困難であったが、粉碎技術開発に努め、粉碎篩分法により粒子と粉に分別する機械装置を考案し、研磨研掃対象の材質に応じた製品の開発を行い、品質とアイテム数において世界的な評価を得ている。</li> <li>・ 今まで廃棄物として野積み、焼却されていたクルミ殻等の有効利用、リサイクル活用を可能としている。</li> <li>・ 近年、タイヤメーカーとの共同開発でクルミ殻の粉碎粒をスタッドレスタイヤに混入し、グリップ力の向上を実現し、スタッドレスタイヤのクルミ殻の原料の供給者として、積雪・凍結時のスリップ防止という自動車の安全性向上に貢献している。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	クルミ殻	1,183 t	1,494 t	杏核	45 t	78 t	桃核	54 t	80 t	トウモロコシ芯	133 t	76 t
品目	平成8年度	平成9年度															
クルミ殻	1,183 t	1,494 t															
杏核	45 t	78 t															
桃核	54 t	80 t															
トウモロコシ芯	133 t	76 t															

受賞者名	所在地	取組みの内容												
小島産業株式会社	大阪府泉北郡忠岡町	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 昭和60年3月 再生ポリエステル綿製造販売</li> <li>取扱品目 産業廃棄物系（事業所より回収） ペット・フィルム等（食品包装容器等、成形時発生スクラップ等） ペット・ボトル（製造時発生分） 一般廃棄物系（一般回収ペット・ボトル） ペット・ボトル・フレーク</li> <li>実績</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペット・フィルム等</td> <td>6,300 t 6,520 ㎡</td> <td>6,300 t 6,520 ㎡</td> </tr> <tr> <td>ペット・ボトル （産業系）</td> <td>300 t 310 ㎡</td> <td>300 t 310 ㎡</td> </tr> <tr> <td>ペット・ボトル・フレーク （一般回収系）</td> <td>—</td> <td>600 t 620 ㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：平成10年度は24時間体制操業で9,600tを計画。うち、一般回収ペット・ボトルについては3,000tを見込んでいる。</p> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高粘度のペットボトルの定量混合、付着ゴミの除去、カサ比重の違う原料を均等に混合する等、先駆的な技術を開発し、良質な再生ポリエステル綿の製造を行い、市場での評価を得ている。</li> <li>使用原料は産業廃棄物・一般廃棄物のペットのみを使用して、再生ポリエステル綿に再生し、ふとん綿、カーペット、紡績糸、不織布等の原料としている。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	ペット・フィルム等	6,300 t 6,520 ㎡	6,300 t 6,520 ㎡	ペット・ボトル （産業系）	300 t 310 ㎡	300 t 310 ㎡	ペット・ボトル・フレーク （一般回収系）	—	600 t 620 ㎡
品目	平成8年度	平成9年度												
ペット・フィルム等	6,300 t 6,520 ㎡	6,300 t 6,520 ㎡												
ペット・ボトル （産業系）	300 t 310 ㎡	300 t 310 ㎡												
ペット・ボトル・フレーク （一般回収系）	—	600 t 620 ㎡												

## 厚生大臣賞

受賞者名	所在地	取組みの内容															
三共株式会社	東京都中央区	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成5年4月</li> <li>取扱品目 発酵廃液、汚泥、紙くず・段ボール、金属・ガラス</li> <li>実績</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発酵廃液</td> <td>5,034 t</td> <td>4,511 t</td> </tr> <tr> <td>汚泥</td> <td>415 t</td> <td>845 t</td> </tr> <tr> <td>紙くず・段ボール</td> <td>418 t</td> <td>437 t</td> </tr> <tr> <td>金属・ガラス</td> <td>359 t</td> <td>345 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製薬業界で初めて、小名浜工場（10.1.9）・小田原工場（10.2.23）で、ISO14001認証を取得した。</li> <li>本社、支店営業所は、個人ゴミBOX、フロアは4分別ゴミBOXを設置し、分別収集・リサイクル促進をしている。</li> <li>工場、研究所では、各室・各ブロックに分別回収BOXを設置し、リサイクルの増加、再生利用に努めている。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	発酵廃液	5,034 t	4,511 t	汚泥	415 t	845 t	紙くず・段ボール	418 t	437 t	金属・ガラス	359 t	345 t
品目	平成8年度	平成9年度															
発酵廃液	5,034 t	4,511 t															
汚泥	415 t	845 t															
紙くず・段ボール	418 t	437 t															
金属・ガラス	359 t	345 t															

## 環境庁長官賞

受賞者名	所在地	取組みの内容																											
南風原町女性連合会	沖縄県島尻郡南風原町	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 昭和58年4月</li> </ul> <p>&lt;実績及び高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資源ごみの集団回収など「集めるリサイクル」のみならず、再生紙の使用率先や町への働きかけ等早い時期から「使うリサイクル」の重要性を認識し、行動に移していたこと。</li> <li>自作自演による寸劇やリサイクル音頭の制作・発表などアピール度の高い活動を行っており、一般への啓発効果も大きい。</li> <li>町役場や商工会等、他の機関を巻き込んだのシンポジウムやフリーマーケットの開催や町のオリジナルトイレトイレットペーパーとしての「かすりペーパー」誕生の原動力となるなど行動力に富んだ活動を行っている。</li> <li>宿泊研修や講師を招いての学習会などにより、会員の研鑽に努めていること。</li> </ul>																											
人吉市ゴミ減量隊	熊本县人吉市	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 平成6年1月</li> <li>取扱品目 紙類, 金属類, 布類, びん類, 紙パック 等</li> <li>実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紙類</td> <td>537.3 t</td> <td>674.9 t</td> </tr> <tr> <td>金属類</td> <td>97.7 t</td> <td>99.2 t</td> </tr> <tr> <td>布類</td> <td>37.2 t</td> <td>44.0 t</td> </tr> <tr> <td>透明びん</td> <td>30.4 t</td> <td>39.1 t</td> </tr> <tr> <td>茶色びん</td> <td>54.7 t</td> <td>80.9 t</td> </tr> <tr> <td>その他びん</td> <td>19.5 t</td> <td>40.3 t</td> </tr> <tr> <td>紙パック</td> <td>0.4 t</td> <td>0.7 t</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>4.7 t</td> <td>11.2 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民からの一般公募による自発的隊員構成（主婦や会社員など、30歳から70歳までの20名）。</li> <li>そろいの服装によるチーム活動でアンケート調査等の実施。</li> <li>専用車による広報・パトロールの実施。</li> <li>全国初の組織として、全国からの視察訪問が多い。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	紙類	537.3 t	674.9 t	金属類	97.7 t	99.2 t	布類	37.2 t	44.0 t	透明びん	30.4 t	39.1 t	茶色びん	54.7 t	80.9 t	その他びん	19.5 t	40.3 t	紙パック	0.4 t	0.7 t	ペットボトル	4.7 t	11.2 t
品目	平成8年度	平成9年度																											
紙類	537.3 t	674.9 t																											
金属類	97.7 t	99.2 t																											
布類	37.2 t	44.0 t																											
透明びん	30.4 t	39.1 t																											
茶色びん	54.7 t	80.9 t																											
その他びん	19.5 t	40.3 t																											
紙パック	0.4 t	0.7 t																											
ペットボトル	4.7 t	11.2 t																											

## 経済企画庁長官賞

受賞者名	所在地	取組みの内容
室蘭消費者協会	北海道室蘭市	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始時期 昭和49年</li> <li>取扱品目 衣類, 生活雑貨, 日用品</li> <li>実績 不要品即売会（昭和49年より） 買い物袋持参、省トレイ運動等（昭和55年より）</li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>室蘭市内において、20年以上にわたって、環境・リサイクル活動の先駆的、リーダー的役割を果たしてきたこと。</li> <li>労力負担の大きい不要品即売会を25年間も継続したこと。</li> <li>地元室蘭工業大学の留学生も参画し、国際交流にも役立っている。</li> </ul>

受賞者名	所在地	取組みの内容																		
練馬生活学校	東京都練馬区	<p>・開始時期 昭和52年2月</p> <p>・取扱品目 アルミ缶</p> <p>・実績</p> <table border="1" data-bbox="1058 469 1798 600"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミ缶</td> <td>6.4 t 320</td> <td>5.4 t 270</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供達のリサイクル学習のため、「リサイクルカルタ」を制作し寄贈している（平成8年に、練馬区教育委員会に550セット寄贈）。この活動はユニークであり、広く報道された。</li> <li>・ アルミ缶買取回収のリサイクル活動の実施。</li> <li>・ 生活学校におけるアルミ缶回収活動の先駆者であり、地域を超えて個人や団体の参加を促進し、全国の生活学校におけるアルミ缶回収のモデルとなった。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	アルミ缶	6.4 t 320	5.4 t 270												
品目	平成8年度	平成9年度																		
アルミ缶	6.4 t 320	5.4 t 270																		
クリーン横須賀大楠市民委員会	神奈川県横須賀市	<p>・開始時期 昭和50年</p> <p>・取扱品目 古紙（ダンボール含む）、牛乳パック、びん、古繊維、アルミ缶、スチール缶、鉄類</p> <p>・実績</p> <table border="1" data-bbox="1064 1210 1765 1525"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古紙</td> <td>228 t</td> <td>242 t</td> </tr> <tr> <td>びん</td> <td>39 t</td> <td>41 t</td> </tr> <tr> <td>アルミ缶</td> <td>4 t</td> <td>4 t</td> </tr> <tr> <td>鉄・スチール缶</td> <td>26 t</td> <td>28 t</td> </tr> <tr> <td>古繊維</td> <td>18 t</td> <td>18 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資源回収量が横須賀市内の団体のうち常に上位にある（平成9年度は第一位）。</li> <li>・ 分別も徹底しており、高齢者世帯や体の不自由な方、共働き世帯等には委員会の役員が回収に回っている。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	古紙	228 t	242 t	びん	39 t	41 t	アルミ缶	4 t	4 t	鉄・スチール缶	26 t	28 t	古繊維	18 t	18 t
品目	平成8年度	平成9年度																		
古紙	228 t	242 t																		
びん	39 t	41 t																		
アルミ缶	4 t	4 t																		
鉄・スチール缶	26 t	28 t																		
古繊維	18 t	18 t																		
関西消費者連合会	大阪府八尾市	<p>・開始時期 平成2年</p> <p>・取扱品目 牛乳パック、缶、ペットボトル 他</p> <p>・実績</p> <table border="1" data-bbox="1064 2033 1765 2192"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牛乳パック</td> <td>70 t</td> <td>90 t</td> </tr> <tr> <td>缶</td> <td>4 t</td> <td>13 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費者、事業者、行政の三位一体の取組みによる回収システムを実施し、収益金は、ユニセフへ寄付している。</li> <li>・ 回収運動にとどまらず、環境問題としてとらえ、不用品バザール、植樹等様々な取組みを実施している。</li> <li>・ 消費者意識の高揚をはかるため、子供環境教育出張講座等の取組みも実施している。</li> </ul>	品目	平成8年度	平成9年度	牛乳パック	70 t	90 t	缶	4 t	13 t									
品目	平成8年度	平成9年度																		
牛乳パック	70 t	90 t																		
缶	4 t	13 t																		

# 文 部 大 臣 賞

受 賞 者 名	所 在 地	取 組 み の 内 容															
加賀市立南郷小学校	石川県加賀市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開始時期 昭和62年</li> <li>・取扱品目 アルミ缶, あきびん, 布類, 古紙</li> <li>・実 績               <table border="1" data-bbox="1087 496 1787 762" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>品 目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミ缶</td> <td>2.0 t</td> <td>3.0 t</td> </tr> <tr> <td>あきびん</td> <td>2.0 t</td> <td>2.0 t</td> </tr> <tr> <td>布 類</td> <td>1.0 t</td> <td>1.0 t</td> </tr> <tr> <td>古 紙</td> <td>34.0 t</td> <td>34.0 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルミ缶リサイクル運動で、児童が回収したアルミ缶の収益で毎年福祉施設に車椅子を寄贈している。平成9年度現在で4台。</li> <li>・ 資源ごみ収集日にアルミ缶を回収(月2~3回、年間25回)</li> </ul>	品 目	平成8年度	平成9年度	アルミ缶	2.0 t	3.0 t	あきびん	2.0 t	2.0 t	布 類	1.0 t	1.0 t	古 紙	34.0 t	34.0 t
品 目	平成8年度	平成9年度															
アルミ缶	2.0 t	3.0 t															
あきびん	2.0 t	2.0 t															
布 類	1.0 t	1.0 t															
古 紙	34.0 t	34.0 t															
朝霞市立 朝霞第七小学校 父母と先生の会	埼玉県朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開始時期 昭和61年</li> <li>・取扱品目 紙類, 布類, 金属類</li> <li>・実 績               <table border="1" data-bbox="1087 1155 1787 1374" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>品 目</th> <th>平成8年度</th> <th>平成9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紙 類</td> <td>78.0 t</td> <td>90.9 t</td> </tr> <tr> <td>布 類</td> <td>2.9 t</td> <td>2.5 t</td> </tr> <tr> <td>金 属 類</td> <td>1.5 t</td> <td>0.9 t</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>&lt;高く評価した点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 37カ所を拠点とし、各世話人を1人ずつおいているため収集体制が定着化し、地域住民との協力により、月初めの木、金に活動を行っている。</li> <li>・ 回収品目は、紙、布、金属と多岐にわたり、毎年上位を保持している。</li> <li>・ 収益金は、月2回の草刈の道具、PTA活動で必要な事務用品の購入にあてている。</li> </ul>	品 目	平成8年度	平成9年度	紙 類	78.0 t	90.9 t	布 類	2.9 t	2.5 t	金 属 類	1.5 t	0.9 t			
品 目	平成8年度	平成9年度															
紙 類	78.0 t	90.9 t															
布 類	2.9 t	2.5 t															
金 属 類	1.5 t	0.9 t															